

プラグマティック品質

プラグマティック品質					
親ID	名称	説明	子ID	名称	説明
U1	合目的性	SRSの記載内容がシステムの目的に適合している度合い	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い
U1	合目的性	SRSの記載内容がシステムの目的に適合している度合い	U1-2	業務要求のシステム目的への適	業務要求がシステムの目的と適合している度合い
U2	生産効率性	要求の具体化と要求変更が可能な度合い	U2-1	定量的具体性の有無	程度や頻度が具体的に示されている度合い
U2	生産効率性	要求の具体化と要求変更が可能な度合い	U2-2	要求の独立性	1つの要求に複数の要求が含まれていない、または依存していない度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-1	標準SRSとの整合性	標準SRSに準拠している度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-2	文書の参照関係の明示	情報の起源が明示してある度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-3	例外要求の網羅	例外について明記してある度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-4	変更可能性の明記	将来要求を変更する可能性について明記してある度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-5	一意に特定可能	個々の要求をID等で特定できる度合い
U3	堅実性	SRSの記述の充足と要求変更の度合い	U3-6	用語集の存在	用語集が存在していること
U4	充足性	SRSの記述内容間の整合と要求の重要度の明記が十分である度	U4-1	ランク付けの有無	要求の重要度が明記されている度合い
U4	充足性	SRSの記述内容間の整合と要求の重要度の明記が十分である度	U4-2	用語の整合	SRSの記述内で使用している用語について、意味や表現が整合している度合い
U4	充足性	SRSの記述内容間の整合と要求の重要度の明記が十分である度	U4-3	動作の整合	SRSの記述内で各動作についての表現が整合している度合い
U4	充足性	SRSの記述内容間の整合と要求の重要度の明記が十分である度	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い

ペルソナのプロパティ

ペルソナ						
親ID	名称	説明	子ID	名称	説明・具体的な内容・抽出する要素	※備考: 変更前の名称
P1	仕事に関わる情報	仕事とそれに関わるシステムに関する情報	P1-1	システムに対する希望	製品に対して何を求めているか、また、製品を利用することで何を達成したいか。	製品に対する希望
P1	仕事に関わる情報	仕事とそれに関わるシステムに関する情報	P1-2	業務に対する考え	業務に対してシステム化すると良いと考えていること、また、システムを利用して簡便化したい業務の内容。	価値観と考え方
P2	身体的特徴	システムを利用する上で考慮されるべき項目	P2-1	視覚障害(失視・重度弱視)	身体的にどのような視覚に関する障害があるか、また、それによってシステムを利用する上で不可能なこと、可能なことは何か。	障害
P2	身体的特徴	システムを利用する上で考慮されるべき項目	P2-2	聴覚障害	身体的にどのような聴覚に関する障害があるか、また、それによってシステムを利用する上で不可能なこと、可能なことは何か。	障害
P2	身体的特徴	システムを利用する上で考慮されるべき項目	P2-3	上肢運動障害	身体的にどのような上肢運動障害があるか、また、それによってシステムを利用する上で不可能なこと、可能なことは何か。	障害
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-1	ITに対する態度	新技術についての関心度合い、また、利用して欲しいかどうかの意	テクノロジーについての意見/態度
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-2	ITリテラシ	IT技術の理解度とそれをどの程度応用できるか。	その他の関連事項
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-3	システムの利用環境	現行システムの利用環境、もしくは新規システムで望む利用環境。	器材
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-4	システムに対する知識	現行システムの利用方法について把握していること、また、把握できていないこと。	分野での経験
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-5	システムの利用頻度	どんなときにシステムを利用し、一日に何回利用するのか、また、利用していない時間はあるか。	インターネットを使用する時間帯、分野での経験
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-6	システムを利用する理由	システムをなぜ利用するのか、また、どの程度システムを重要としているか。	使用している電子機器およびなぜそれを使用しているのか
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	ITの知識や関心、また、利用している機器などの情報	P3-7	システムの利用場面	システムを何に利用するのか、また、いつ使用するのか。	分野での経験

※「抽出する要素」とは、SRSを評価する際に、利用する記載内容を表す。

←利用して欲しいのに「利用しない」、利用して欲しくないのに「利用する」となっている場合、指摘事項となり得る。

←把握できていないことは削除するか、使い易さを向上するキーポイントになる。これを確認すれば、現状のままになっている箇所を指摘で

←「システムの利用頻度」と若干かぶる…

標準SRS

標準SRS					
親ID	名称	説明	子ID	名称	説明
S1	本要求定義書について	本要求定義書についての概要	S1-1	要求定義書の目的	要求定義書の利用目的
S1	本要求定義書について	本要求定義書についての概要	S1-2	要求定義書の想定読者	想定する読者について
S1	本要求定義書について	本要求定義書についての概要	S1-3	要求定義書の構成	定義書の構成について
S1	本要求定義書について	本要求定義書についての概要	S1-4	参考文献	参考文献について
S2	システム開発概要	システム開発の目的や制約事項など、開発において確認すべき	S2-1	システム化の目的	なぜシステム化するのか、その目的について
S2	システム開発概要	システム開発の目的や制約事項など、開発において確認すべき	S2-2	業務概要とシステム化の範囲	業務の概要と業務のどの部分をシステム化するのか
S2	システム開発概要	システム開発の目的や制約事項など、開発において確認すべき	S2-3	制約事項	ハードウェアやソフトウェア、利用における制約
S2	システム開発概要	システム開発の目的や制約事項など、開発において確認すべき	S2-4	用語定義	要求定義書で利用されている用語の説明
S3	要求に変更を与える事項・未確定事項	要求変更に関する情報	S3-1	要求に変更を与える事項	将来、要求に変更を与えると考えられる事項
S3	要求に変更を与える事項・未確定事項	要求変更に関する情報	S3-2	未確定事項	未確定のままになっている事項
S4	機能要求	実現すべき機能についての情報	S4-1	業務フロー定義	定義した業務フロー
S4	機能要求	実現すべき機能についての情報	S4-2	機能定義	定義した機能
S4	機能要求	実現すべき機能についての情報	S4-3	データモデル定義	定義したデータモデル
S5	非機能要求	実現すべき非機能についての情報	S5-1	非機能要求グレード表	グレード表
S5	非機能要求	実現すべき非機能についての情報	S5-2	システムアーキテクチャ要求	システムアーキテクチャに関する要求
S5	非機能要求	実現すべき非機能についての情報	S5-3	移行要求	移行に関する要求
S5	非機能要求	実現すべき非機能についての情報	S5-4	サービス提供要求	サービス提供に関する要求

標準RFP					
親ID	名称	説明	子ID	名称	説明
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-1	システム化の背景	導入システム名、経営戦略の概要、経営戦略を具体化させるための目標、経営環境の概要、売上・従業員数、経営戦略を具体化させるためのIT化目標を記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-2	システム化の目的・方針	優先順位などの前提条件、開発の基本方針を記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-3	解決したい課題	各部門毎でどのようなビジネスフローの改善、システムが必要かを記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-4	狙いとする効果	「解決したい課題」に対する狙いと、システム導入による期待効果を記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-5	現行システムとの関連	現行システムの概要、IT化の現状について記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-6	会社・組織概要	システム発注企業名、発注者および企業の基本情報、組織構造について記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-7	新システムの利用者	運用管理者、社内利用者などの想定する利用者について記載
R1	システム概要	依頼するシステムについての概要	R1-8	予算	開発想定予算について記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-1	提案の範囲	全体システム概要、調達するシステムのスコープ、第一フェーズについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-2	調達内容・業務の詳細	要求機能一覧、DFD、ERD、現行データについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-3	システム構成	アプリケーションソフトウェア、ハードウェア、ネットワークアーキテクチャ、セキュリティシステムについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-4	品質・性能条件	システムに求める品質・性能に関する条件を記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-5	運用条件	エンドユーザの利用時間および時間帯、ハードウェア定期チェックとシステムソフトウェアのバージョンチェック等、その他の運用制限、システム運用に提供されるレポートなどの運用に関する事項について記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-6	納期およびスケジュール	予定本稼働開始年月日、開発のスケジュールについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-7	納品条件	納品物件の明細、受渡媒体・部数・方法・時期、納品場所について記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-8	定例報告および共同レビュー	定例進捗報告会、レビューについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-9	開発推進体制	コンシューマ側の体制、プロバイダ側の体制について記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-10	開発管理・開発手法・開発言語	開発管理、開発手法、言語等に関する指定や提案してほしいものについて記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-11	移行方法	データの移行、現行システムから新システムへの切り替え方法について指定や希望を記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-12	教育訓練	システム運用要員への教育、ユーザへの教育についての指定、希望を記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-13	保守条件	システム監視、保守、サポート内容についての指定や希望を記
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-14	グリーン調達	プロバイダに対して、環境マネジメントシステムについての依頼事項を記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-15	費用見積	見積有効期限年月日、提案価格、ASPを提案される場合の情報についての依頼事項を記載
R2	提案依頼事項	依頼に関する詳細情報	R2-16	貴社情報	システムのプロバイダについて、企業名、大法者名、所在地、組織体系、提案責任者、契約関連担当者、システム導入実績、提案パッケージソフトウェアの導入実績、決算書の添付、事業概要などの信頼情報の提供を希望する事項を記載
R3	提案手続きについて	提案に関する情報	R3-1	提案手続き・スケジュール	提案書提出について、提案書の採否連絡、プレゼンテーション日程、最終提案の採否連絡について記載
R3	提案手続きについて	提案に関する情報	R3-2	提案依頼書(RFP)に対する対応窓口	窓口、質問・問い合わせについて記載
R3	提案手続きについて	提案に関する情報	R3-3	提供資料	提供する資料、提供資料の扱いについて記載
R3	提案手続きについて	提案に関する情報	R3-4	参加資格条件	プロバイダに対する参加条件を記載
R3	提案手続きについて	提案に関する情報	R3-5	選定方法について	プロバイダの選定方法について記載
R4	開発に関する条件	開発に関する情報	R4-1	開発期間	開発作業開始年月日、納期年月日を記載
R4	開発に関する条件	開発に関する情報	R4-2	作業場所	システムの開発場所について記載
R4	開発に関する条件	開発に関する情報	R4-3	開発用コンピュータ機器・使用材料の負担	開発機材や開発場所に関わる資材について記載
R4	開発に関する条件	開発に関する情報	R4-4	貸与物件・資料	コンシューマ企業からの貸与資料、提供物件について記載
R5	保証要件	システムについての品質やセキュリティについての依頼情報	R5-1	システム品質保証基準	サービスレベル、トランザクションレベル、スループットについて記載
R5	保証要件	システムについての品質やセキュリティについての依頼情報	R5-2	セキュリティ	社内におけるセキュリティ、社外に対するセキュリティについて記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-1	発注形態	移行支援、ハードウェアやシステムソフトウェア等についての契約形態についての指定や希望を記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-2	検収	検査・検収期間について、作業完了報告書年月日について記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-3	支払条件	支払時期と方法について記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-4	保証年数(瑕疵担保責任期間)	保証年数について記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-5	機密事項	機密情報について記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-6	著作権等	システム所有権、著作権、二次的著作権の利用権の帰属または移転について記載
R6	契約事項	契約に関する詳細情報	R6-7	その他	仕様変更・機能追加等の対応、納期遅延、品質不足によるプロバイダのリスク、システム開発の再委託に関する責任について

瑕疵=かき

一般的には備わっているにもかかわらず本来あるべき機能・品質・性能・状態が備わっていないこと

瑕疵担保責任期間

有償契約において、給付した目的物または権利関係に瑕疵がある場合に、当事者間の公平を図る目的で、契約の一方当事者が負担する損害賠償等を内容とする責任